

しずおかMaaS

将来ビジョン・中長期計画



目次

【将来ビジョン】

1. わたしたちの思い
2. 目指すべき5つの方向性
3. しずおかMaaSによる新しい暮らし方

【中長期計画】

4. 主な取組
5. ロードマップ
6. 今年度の取組



しずおかMaaS 将来ビジョン



1. わたしたちの思い



つながるまち、変わるあした

みなさんはどんな「まいにち」を過ごしていますか？
変わらない日常の繰り返し、かと思えば、突然大きな変化が訪れたり。
必要とするサービスやライフスタイルは日々変わっていきます。

たとえどんな「あした」が訪れても、
安心して行きたい場所に行ける、会いたい人に会える、必要なサービスが受けられる、
そんなまちだったら、自分らしく暮らし続けられるのでは、とわたしたちは考えます。

しずおかMaaSは、
しずおかの「あした」を真剣に考える仲間、そして市民のみなさんとともに、
必要な人・モノ・情報・サービスをつないだり、「移動」をもっと快適にすることで、
暮らし続けられる「魅力的なまち」の実現を目指します。

みなさんのしずおかで暮らす「まいにち」が、もっと楽しくなりますように。
しずおかで暮らす「あした」を、もっと好きになれますように。



2. 目指すべき5つの方向性



1 気の向くままに移動しよう

- 行きたい場所に気ままに行けない。時刻表・運賃を気にするのはわずらわしい。外出のたびに家族に送ってもらうのは気が引けてしまう。このような移動の制約をなくし、がまんせずに好きな時に好きな場所に移動できる環境を実現します。
- 技術革新や社会情勢の変化に伴って、多様化するライフスタイルに対応できるように、様々な移動手段の提供を目指します。

2 心にゆとりを、暮らしにうるおいを

- 通勤や通学、子供の習い事への送迎、家族の病院への付き添い、日々のお買い物など生活の中で移動時間が占める割合は意外と多くあります。移動サービスや物流サービスの高度化・効率化により、日々の生活で自由に使える時間を増やし、ゆとりある豊かな暮らしを実現していきます。



3 安心や快適をあたりまえに

- 夜の帰り道、子供や高齢な親の外出。予定通りに目的地につけるのか。電車やバスの車内は混雑していないか。移動にはちょっとした不安がつきものです。
そんな不安を解消し、安全は当たり前、より安心して快適な移動サービスの提供を目指します。
- 災害・感染症拡大等の緊急時においても、安心して移動できる環境づくりに努めます。

4 近未来にわくわくチャレンジ

- IoT・AI・自動運転等の新技術を活用し、これまでにない新しいサービスを創り出すことで、わくわくが溢れるまちをつくっていきます。
- 地域の資源と新技術を組み合わせることで、新たな観光需要を創出していきます。

5 私にもできることがある

- 人口減少、少子高齢化にまつわる社会問題や地球温暖化等の環境問題、感染症予防・拡大防止への対策など、いまの社会には様々な課題があります。
行政や地域団体、市民が一丸となって、様々な課題を解決し、未来の担い手である子供たちが暮らし続けたいと思えるような豊かなまちを目指します。



3. しずおかMaaSによる新しい暮らし方

しずおかMaaSによって、実現する新しい暮らし方。ここでは、そんな未来のイメージをお示します。

【SCENE 1 : 気の向くままに移動しよう】

【SCENE 2 : 心にゆとりを、暮らしにうるおいを】

【SCENE 2 : 心にゆとりを、暮らしにうるおいを】

【SCENE 3 : 安心や快適をあたりまえに】

【SCENE 4 : 近未来にわくわくチャレンジ】

おばあちゃんの暮らし (p9)

共働きのお母さんの暮らし (p10)

サラリーマンの暮らし (p11)

学生の暮らし (p12)

若者の暮らし (p13)



SCENE 1

気の向くままに移動しよう

これまで



①

これから



②



③

今週の予定

月	切り絵教室
火	病院/郵便局
水	友人宅
木	朝市
金	生け花教室
土	地区集会

④



【これまで】

①友人から習い事のお誘い。本当は参加したいけど、気軽に移動できないので、お誘いを断る。

【これから】

②スマホに習い事のお知らせが。習い事の開催場所である集会所までのモビリティを予約。

③自宅から集会所までらくらく移動。

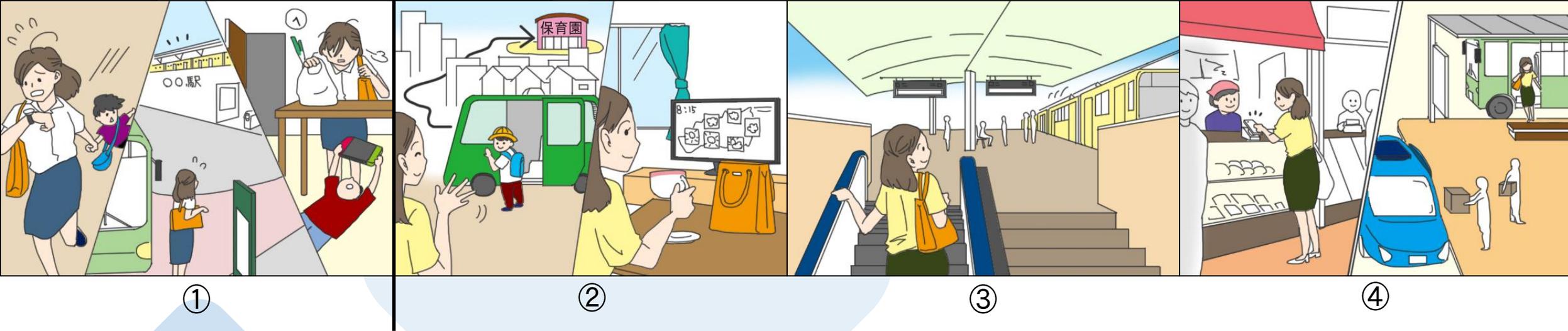
④自由に移動できるようになったので、気軽に外出。

SCENE 2

心にゆとりを、暮らしにうるおいを

これまで

これから



【これまで】

①共働きのお母さんは育児、仕事、家事と大忙し。

【これから】

②保育園まで子供を送り迎えしてもらえるので、ゆっくりと朝の支度を。

③乗り換え案内アプリが正確なので、待ち時間がほとんどなしでバスから鉄道に乗り換えが可能。

④昼休みの隙間時間に買物。購入品は自宅から最寄りのバス停で受け取り可能。

SCENE 2

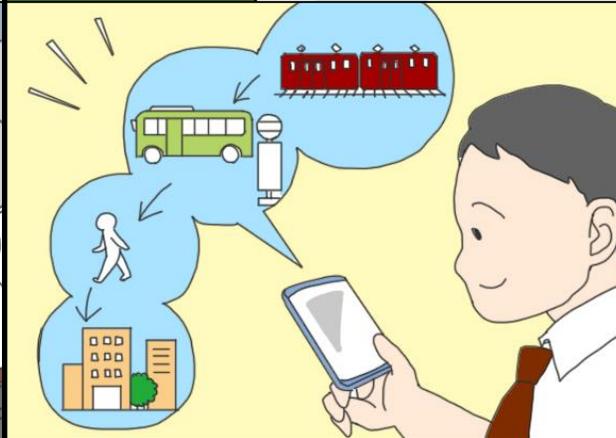
心にゆとりを、暮らしにうるおいを

これまで

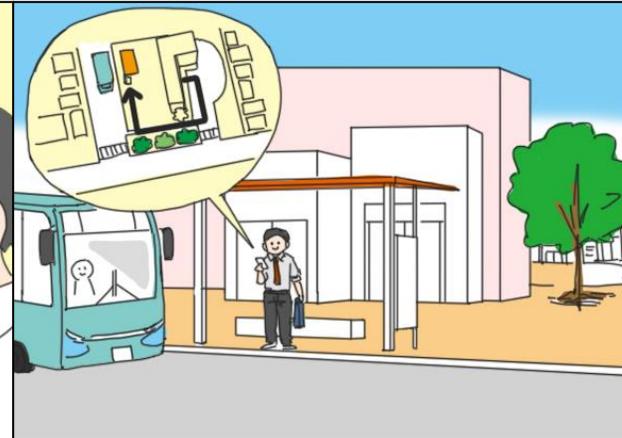


①

これから



②



③



④

【これまで】

①外回りは、道に迷ったり、精算に時間が取られたりと、意外と手間がかかる。

【これから】

②取引先まで移動する際は、移動手段の検索・予約・決済が一括で完了。

③迷うことなく、スムーズに取引先へ。

④精算もらくらく。

SCENE 3

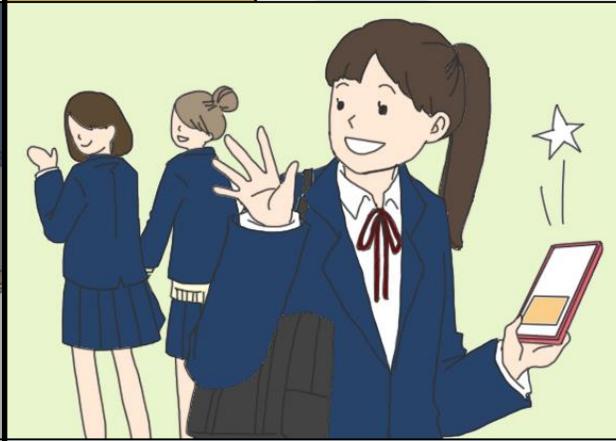
安心や快適をあたりまえに

これまで

これから



①



②



③



④

【これまで】

①部活で帰りが遅くなり、帰り道が暗くて怖い。親も子供の帰りが心配。

【これから】

②部活で帰りが遅くなった時はスマホで手軽にモビリティを予約。

③明るい場所でモビリティを待つことができるので、安心。

④子供がモビリティに乗車したことが通知されるので、安心。

SCENE 4

近未来にわくわくチャレンジ

これまで

これから

①

②

③

④

【これまで】

①職場がまちなかにあるため、まちなかの狭い住宅で一人暮らし。

【これから】

②自然豊かな郊外の移動サービス付き住宅に一人暮らし。

鉄道、バス、タクシー等の移動サービスが使い放題なので、まちなかに気軽に移動。

③まちなかには、多様なモビリティ。気の向くままに、まちなかを探検。

④まちなかのいたるところで多様なイベントが。イベントに気軽に参加し、新たな出会いが。

しずおかMaaS 中長期計画



4. 主な取組



しずおかMaaSでは、暮らし続けられる「魅力的なまち」の形成を目指し、下記取組を進めていきます。

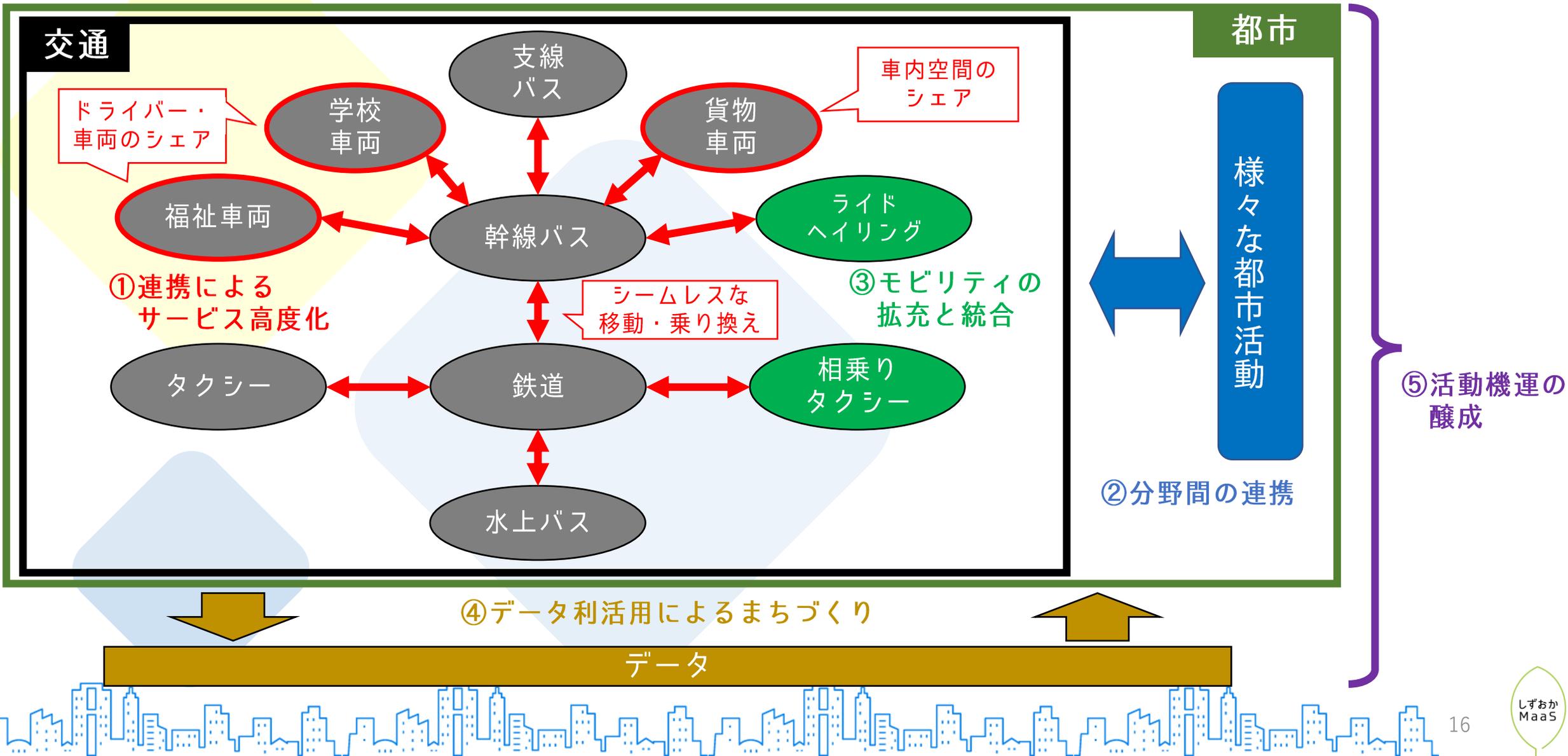
①連携によるサービス高度化

②分野間の連携

③モビリティの拡充と統合

④データ利活用によるまちづくり

⑤活動機運の醸成



各取組について

①連携によるサービス高度化

- 個別に提供されてきた複数の公共交通を結びつけるプラットフォームを構築し、キャッシュレス決済が可能な「出発地から目的地までの一体的な移動サービス」として提供するとともに、鉄道駅をはじめとする交通結節点において、公共交通間を円滑に乗り換えできる環境を形成することで、シームレスな移動を実現します。
- 車両、車内空間、運転手など、あらゆるものをシェアすることで、公共交通サービスを効率的かつ効果的に提供することを目指します。

②分野間の連携

- 公共交通サービスと商業・医療・観光・レジャー等の様々なサービスを結びつけるプラットフォームを構築し、今までになかった、便利で新しいサービスの提供を目指します。

③モビリティの拡充と統合

- AI技術を活用したオンデマンド交通、自動運転、グリーンスローモビリティ、カーシェアリング、コミュニティサイクルといった新しいモビリティを導入することで、多様なニーズに応えることができる公共交通サービスの提供を目指します。

④データ利活用によるまちづくり

- 公共交通サービスの運行情報、混雑情報等のデータを公開するとともに、データに基づいたサービスの改善を定期的に行うことで、より利用しやすいサービスの構築を目指します。

⑤活動機運の醸成

- コンソーシアムHP、イベント・シンポジウム等を通して、しずおかのみなさんと一緒に「しずおかMaaS」の取組を進めていくことで、地域に根差したサービスの構築を図っていきます。



5. ロードマップ



ロードマップ

2019年度

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

2024～
2029年度

2030年度～

全体

★2019年5月27日 コンソ設立

★スモールスタート（順次）

★各種検討・実証実験

★本格実装
（順次）

実験用
プラットフォームの構築

プラットフォームの検討（連携先システム含む検討・事例収集等）

運営体制の検討

交通事業者との調整

スマート決済・サブスクモデルによるシームレスな乗降の検討

他地域連携の検討

モビリティポートの機能検討

商業分野との連携検討

AI相乗りタクシーで
の宅配サービス検証

運賃外収益化の検討

実現可能な
分野から
順次連携

観光分野との連携検討

医療・福祉分野との連携検討

量的拡大
機能強化・追加

新たなモビリティ（自動運転・パーソナルモビリティ等）の検討

AI相乗りタクシー
有料実験（市街地）

サブスクサービス・
ワゴン車両での検証
（市街地・郊外部）

外出促進・
生活支援サービスの
連携検討（山間部）

外出促進・
生活支援サービスの
連携検討

一部エリアでの
サービス提供

シェアサイクルの拡充と連携検討

他エリアでの
サービス拡充検討

各実験におけるデータ収集・可視化・事業性検討

サービスの実装・改善におけるデータ活用

情報銀行のビジネスモデルの検討・事例収集等

コンソーシアムの運営

イベント・シンポジウムの実施

①連携による
サービス高度化

②分野間の連携

③モビリティの
拡充と統合

④データ利活用による
まちづくり

⑤活動機運の醸成



暮らし続けられる
「魅力的なまち」
の実現へ

「移動」

・過度な自家用車
依存からの脱却

「まち」

・各種サービスが
シームレスに
一元化された
住みよいまちの
形成

※2022年3月時点

しずおか
MaaS

しずおかMaaSでは、暮らし続けられる「魅力的なまち」の実現に向けて、まずは「過度な自家用車依存からの脱却」および「各種サービスがシームレスに一元化された住みよいまちの形成」を目指します。

その達成度を把握するために、以下のモニタリング指標を設定することとします。

	モニタリング指標
過度な自家用車依存からの脱却	<ul style="list-style-type: none"> 一人あたりの年間の公共交通の利用回数（実績データ） 公共交通に対する満足度（ルルカモニター等へのアンケート）
各種サービスがシームレスに一元化された住みよいまちの形成	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通と他分野が連携したサービスの数（実績データ） 公共交通間の乗り換えに対する満足度・日常生活サービス（買い物・医療等）に対する満足度（ルルカモニター等へのアンケート）

※モニタリング指標については、取組の進捗具合・社会情勢等に応じて、随時見直しを図っています。

